

堆積土農業活用報告会

3月22日（水）「堆積土砂の農業用土への活用試験報告会」が開催されました。

これは、さくら湖の水質保全のため設置した前ダムの堆積土砂を農業分野で活用出来ないか検討するもので、平成15年度から年1回程度開催し、栽培試験・病理試験・活用にあたっての課題等について、農業関係機関や農家の方々に出席していただき、話し合いを重ねて来たものです。

今回は、これまでの結果や今年度の試験結果で一定の成果が得られたことから、来年度以降、実際に農業分野で活用出来ないか意見を伺うため開催しました。

会議では、開会の挨拶に始まり、今年度の試料の採取位置・成分分析結果等について報告を行い、続いて昨年度と今年度の試験方法の相違点や概要、今年度の野菜栽培試験結果等の報告を行いました。意見交換では、実際に活用する場合の課題等につ

いて、活発な意見交換が行われ「堆積土は粒度が細かいことや栄養分を含んでいることから、土地がやせている水もちが悪い農地の改良には活用できるのではないか」、「農地整備が進んだ現在では、大量の需要は望めないのではないか」、「農家が個人で使用する場合、面的に敷均しするのに労力がかかるのでは」、「水稲栽培では、病気は発生していないが野菜の病理試験では、過去の試験で病気が見られたこと等から農家の方が活用するかどうか」等の意見が出され、堆積土砂の農業への活用に向け、大変参考となる有意義な会議となりました。今後は、農業関係の方々に検討結果を公表し、使用に関する提案をいただきながら活用の促進がはかれればと考えています。

最後に、年度末のお忙しい中ご出席いただいた皆様に、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。



所長あいさつ



事務局からの調査報告



調査報告の様子



※土砂を使用したいという情報があれば、

是非三春ダム管理所まで御連絡ください。

阿武隈川水系 河川水辺の国勢調査 アドバイザー連絡会議

管理係 田原 主税

これまで河川・ダムにおいて実施されてきた「河川水辺の国勢調査」（←水辺周辺に生息している動植物等の調査）が3巡目を終え、各事務所において生態系が安定していると評価できたことから、来年度以降これまで5年に1回だった調査を10年に1回とすることになり、併せて同じ水系にある事務所・ダム管理所が同じ項目を同時に調査することにより、コストを縮減することになりました。今回の会議は、この方針を踏まえ、今まで各事務所・ダム管理所がバラバラに行ってきた調査を水系一貫で調査できるよう足並みを揃えるためのものでした。また、会議には様々な分野のアドバイザーに出席頂き、これまでの調査結果や今後の調査計画について、貴重な御意見を頂きました。

会議では、阿武隈川水系の各事務所・ダム管理所担当者より平成17年度の調査結果の概要について説明し、各アドバイザーから意見を頂きました。どの調査でも問題となっているのは、やはり「外来生物」です。最近、外来生物に関する法律もまとまり、今後どのように防除・駆除していくかが課題となってきます。外来生物により元々その土地にいた生物が排除されてしまう、もしくは希少種などが絶滅してしまう等々、良い事はありません。三春ダムの例を挙げますと、魚ではブラックバス（これは全国的に困っています）が、大滝根川に生息している魚や甲殻類（エビとか）を食べています。

鳥では、わざわざ本宮町付近からカワウ（これも全国的に結構困っています）が、さくら湖にいる魚を食べに来ています。また、その他にもガビチョウという鳥がいます。この鳥は、ウグイスと競合する（←つまり、縄張り争いみたいなもの）と考えられており、ガビチョウが勝つと三春ダム周辺からウグイスは居なくなってしまいます。

このように、会議では様々な意見交換が行われ、今後の業務に非常に役立つ有意義なものとなりました。最後に、お忙しい中御出席頂いたアドバイザーの皆様、貴重な御意見ありがとうございました。



【カワウ】

さくら湖網場で休息するカワウたち
撮影：平成17年1月26日



【ガビチョウ】

ギャーギャーという鳴き声をしませす
写真：環境省ウェブサイト

貯水池・湖面巡視

三春ダム管理所では、貯水池周辺の構造物や湖面・法面などに危険や異常がないかなどの安全確認のため、定期的に巡視を行っています。貯水池・湖面巡視は、二人一組になり各項目にしたがい点検を行います。



出発前には安全のため必ずライフジャケットを装着し船の点検を行います。



三春南部かんがい取水塔と暁気管理室



本線前ダム



堤体と郡山上水取水塔



郡山東部かんがい取水塔



三春南部かんがい取水塔



現場の状況をデジタルカメラで撮影

～うつくしま地域情報ターミナルを設置しました～

三春ダム資料館1階に「うつくしま地域情報ターミナル」のタッチパネルを設置しました。福島市、郡山市、会津若松市、いわき市など福島県内のライブカメラや阿武隈川・国道4号線・6号線などの防災・工事規制情報をご覧になることができます。見たい場所や知りたい情報を画面タッチして検索することができます。



トップページ



画面にタッチ
してみてください



福島県内道路状況モニタ
国道4号線、6号線、49号線、宮城県、山形県の交通状況を見ることができます。



ミッキーちゃん&れんくんの

なぜ?なに?さくら湖



Q. 三春ダム(堤体)をつくるのに使われたコンクリートの量は、どのくらいですか?

A. 三春ダムはコンクリートの重さで、水圧を支える重力式コンクリートダムです。ダムの高さは、65m(20階建てビルとほぼ同じ高さ)で、堤頂長は174mあります。三春ダム(堤体)建設では、約4,520万kgのセメントが使われました。1袋40kgのセメント袋これを全部積み上げると約

17万mにもなり、富士山(3,376m)の約4.5倍になります。また、ミキサー車でつなげると郡山から盛岡までの約300kmつながります。



こんなにたくさんのコンクリートを使っているんだね。



自然観察ステーションからのお知らせ

< 星を見る会 >

4月7日(金)、15日(土)、21日(金)
午後7時~9時 ※荒天中止(曇天・風雨・雷など)
参加料:大人 200円・小人100円

< 春の野山を歩こう >

4月15日(土) 午前9時~12時
参加費:300円 さくら湖周辺を歩きます。

●参加費は60才以上、未就学児は無料になります●

— お問い合わせは —
さくら湖自然観察ステーション
0247-61-1546
三春交流館まほら
0247-62-3837



資料館からのお知らせ

春の物産展 開催

期間:4月1日(土)~5月7日(日)



お近くへお越しの際には、お寄りください。

3月の見学者



3月10日(金)
三春町認定農業者協議会のみなさん(15人)

ダム見学案内については、事前の申し込みが必要です。
0247-62-3145水質係までお気軽にご連絡ください。



1階(休憩コーナー)に閲覧室を設置しています。

三春ダム管理所で今まで発行した、さくら湖だより・さくら湖自然教室・自然環境フォーラムや三春ダム周辺の写真集など数多く閲覧しております。資料館へお越しの際にゆっくりとご覧ください。



編集後記

3月は、年度末、卒業式など公私ともに何かと慌ただしい毎日を送った方が多かったのではないのでしょうか。そんな中、今年も3月半ばにはウグイスの鳴き声を聞くことができました。三春の滝桜の開花予想も発表され、例年どおり開花は15日前後、見ごろは20日頃とのことです。1年の中で最も賑わう三春の春がやってきます。



(石井)

編集・発行

国土交通省
東北地方整備局
三春ダム管理所

皆様のご意見や情報の提供をお待ちしております。

〒963-7722

福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内403-4
TEL0247-62-3145 FAX0247-62-3170

ホームページアドレス

<http://www.tbr.mlit.go.jp/siharu/>